

寺だより

22/06/22
第104号

真宗大谷派
青龍山西光寺
珠洲市正院町正院

世のなか安穩なれ、
あんのん

仏法ひろまれ

親鸞聖人のお言葉

今年の3月1日、真宗大谷派は「ロシア連邦のウクライナ侵攻に関する声明」を発表しましたのでお知らせします。

ロシア連邦のウクライナ侵攻に関する
声明

私たち真宗大谷派は、このたびのロシア連邦のウクライナに対する侵攻をはじめとして、あらゆる武力行使に対して反対の意を表明します。

また現在、恐怖と悲しみの中にいる多くの人々に平和が取り戻されることを強く望みます。

私たちは、先の大戦において国家体制に追従し、戦争に積極的に協力して、多くの人々を死地に送り出した歴史をもっています。その過ちを深く慙愧（ざんき）する教団として、「1995年の『不戦決議』において、「すべての戦闘行為の否定」とともに、「民族・言語・文化・宗

教の相違を越えて、戦争を許さない、豊かで平和な国際社会の建設にむけて、すべての人々と歩みをとにもする」ことを誓いました。

このたびの国家間の問題のみならず、世界にはミャンマーをはじめとした、今なお武力による衝突や弾圧の続く国や地域があります。あらためて、すべての武力行使に対して反対の意を表するとともに、一日も早く安穩なる日々が訪れることを願います。

2022年3月1日

真宗大谷派（東本願寺）

宗務総長 木越 渉

『仏説無量寿経』というお経に「兵戈無用（ひょうごがむよう）」という言葉があります。「兵戈」は、兵士や武器という意味です。

「仏の歩むところ、あらゆるところのあらゆる人々はみな、その教えの尊さを思わない者はいない。人々の心は豊かに安らかであり、兵士や武器を全く必要としない世界である。」と示されています。

お釈迦様は、「兵戈無用」であるためには、仏法が繁盛しなければならぬと言われました。

親鸞聖人は、「殺してはならない、殺

さしめてはならない。」「世の中が安穩（おだやか）」である為には「仏法ひろまれ」とおっしゃいました。
改めて、「世のなか安穩なれ 仏法ひろまれ」。切にそう思います。

西光寺永代経法要のご案内

亡きお方をご縁として

6月26日（日）〜28日 午後2時より

法話 寺西良夫先生（富山県氷見市）



昨年の永代経法要 皆さんと正信偈唱和

今年も日程を短縮して、永代経法要をお勤めさせていただきます。また、最終日28日は、西光寺門信徒総追悼法要も併せてお勤めします。

お参りの皆さまには、読経中お焼香をして頂いております。どうぞお誘い合わせの上、皆さんお参り下さい。

永代経法要とは

永代経は「永代読経」を略した言葉です。

永代経には、先達の「お寺の本堂に永代に渡って、仏さまの教えが子々孫々に続いていきますように」、そこからまた「お念仏の道場であるお寺が永きに渡って存続し、お念仏の教えが繁栄し続けるように」という願いが込められています。

長きにわたり、代々伝えられてきたお念仏の道を途切れることなく、次の世代に申し伝える、この尊いご縁をいただくのが、永代経です。

亡き人、ご先祖さまに「ありがとうございます」と感謝申しつつ、仏法聴聞のご縁にさせていただきますでしょう。

お参りは午後二時からですので、受付は三日間とも午後からになります。

■ 前年度物故者追悼法要について

6月26日(日)午後二時

昨年四月より今年三月に亡くなられたご門徒さん(24名)の追悼法要です。永代経法要と併修します。



昨年の物故者追悼法要

お供えをお渡ししますので、お持ち帰りいただきます

蓮如忌へんじやまいり

無事勤まる！



4/25 御書様と蓮如像

うか心配するようになりまして。今年も桜の花が早く咲き、心配していたのですが、お花切りのみなさんのご苦労

法要の初めに、亡くなられた方のお名前を読み上げます。お勤めとともに、ご遺族の方々にお焼香をしていただきます。

法要終了後、ご遺族の方には、

今年も4月24

日・25日の二日間には蓮如忌のお参りを勤めることができます。年々桜の開花時期が早くなり、お内陣のお花に「桜」が使えるかど

により、桜が準備でき、きれいに仕上がりまりました。

24日・25日



4/25 お参りの様子

は、瓶子秀尚さん宅でのお勤めから始まり、御書様の行列、西光でのお勤めの後、住職の御書様拝読、加賀市からお越しいただいた山本龍昇先生の法話の後、御書様は瓶子さん宅へお帰りになりました。

た。

25日は、正院雅楽会の皆さまにも参加していただきました。また、お導師様の光行寺住職(蛸島)さんをはじめ、乗光寺(飯田)・了覚寺(野々江)・慶西寺(熊谷)・長覚寺(川尻)・広栄寺(大谷)・願念寺(大谷)・称名寺(加賀市)の住職さん方、そして広栄寺前住職さんにお参りいただき、おごそかなお勤めをいただきました。

皆様には仏供米並びにローソク料の志納をいただき、ありがとうございます。

〓二〇二一―二年度蓮如忌志納報告〓
仏供米代(お金で志納された分)

一三八戸 一一八,五〇〇円

(一四〇戸 一一九,三〇〇円)

ローソク料

二六〇戸 九三二,〇〇〇円

(二七五戸 九六四,五〇〇円)

お賽銭

二八,八五〇円

(二四,九五〇円)

永代経志・特別懇志について

近親者が亡くなられた事をご縁に、故人の追慕から納められる特別な懇志を、『永代経志』といえます。

北陸地方では、祠堂が上がるとも言います。

『永代経志』を納められますと、永代経志札を本堂に上げさせていただきます。その際、永代経法要の期間中の前年度物故者追悼法要とは別に、日時を合わせて来寺していただき、特別永代経のお勤めにお参りいただき、お勤めの後、お備えしたお仏飯と



お齋は、西光寺特製精進料理

西光寺で作った精進料理を参詣の皆様にご利用いただいております。なお、西光寺では毎朝六時五十分より「おあさじ」という朝のお勤めをしております。に、祠堂が上がった方々の命日のお勤めとして、「歎佛偈(たんぶつげ)」というお経を誦経しています。永代経志・特別懇志を考えられていらっしゃる方は、西光寺までお問い合わせ下さい。

■法和会 五月・六月開かれる!

5月8日(土)、6月8日(火)の午後2時より法和会の集いがありました。

法話会は、阿弥陀さまの「そのままがいいよ、そのままがいいよ、みんな遇える別れない世界があるよ」という教え聞く会です。

法話を「おとりつぎ」とも言います。住職自身が阿弥陀さまの教えを味わい、喜ぶ。その喜びを阿弥陀さまにかわって皆さまに「おとりつぎ」をしま

す。

両日とも、正信偈を唱和したあと、住職の法話を聞きました。

休憩時には、大正琴の伴奏による歌。皆さん大きな声で楽しそうに歌われていました。

次回は、7月8日(木)実施予定です。どうぞお誘い合わせの上、ご参加下さい。

西光寺護持委員会からのお知らせ

ご門徒の皆さまには、日頃より、西光寺の護持に対し、格別なるご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

◆西光寺維持費について

二〇二二(令和四)年度の西光寺維持費は、昨年度と同じ四千円です。

六月中に、各町内護持委員さんが、集金に回られますので、御協力お願いします。

護持委員さんのおいでない町内の方、また遠方の門徒さんには申し訳ありませんが、直接西光寺あるいは郵送でお納めいただければ幸いです。



6/7 法話会

◆ 護持委員さん交代のお知らせ

○岩坂 鼠田 弥義さん(瀬法司 忠良さん)

() は前任者

■ お寺の本棚 設置！

西光寺本堂に本棚を設置しました。現在は、月刊雑誌『同朋』を置いています。『同朋』は「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに東本願寺が毎月発行する月刊誌です。



本堂に設置された本棚

第 104 号
す。
ろ
置
い
と
思
い
ま

◆ 墓地管理委員会からのお知らせ

◆ 二〇二二年度墓地代について

護持委員さんが集金に回られますのでよろしくお願いいたします。護持委員さんのおいでない町内の方、また遠方の方は、直接西光寺へ、あるいは、西光寺内墓地管理委員会宛に郵送等でお願ひします。

第 4 条 西光寺墓地管理委員会規定より
*西光寺墓地管理委員会規定より
西光寺は墓地に墓地を所有する

者を以て会員とし、新規の会員を妨げない。

第 5 条 墓地の管理、運営にあたり、会員より必要経費として段階毎に年会費の納入を願う。

記

- イ、三平米未満 年間千円
 - ロ、三平米以上 年間千五百円
 - ハ、六平米以上 年間二千円
 - ニ、九平米以上 年間二千五百円
 - ホ、十平米以上 年間三千円
 - ヘ、特別 年間五千円
 - ト、門徒外 年間五千円
- 附別 この規定は平成13年5月15日より適用する

◆ 墓地清掃について

6月13・14日に、



シルバー人材センターに依頼して墓地清掃を行いました。年々草の成長が早くなり、またこれまで見かけなかった草も増え大変な作業になりましたが、シルバーさんのおかげできれいになりました。

シルバー人材センターに依頼し、墓地清掃を実施する予定です。

|| 編集後記 ||

「隣のレジは早い」

隣のレジで並んでいた人たちが支払いを終え、買い物物を済ませているのに、自分はまだレジの列に並んでいる。

私も隣のレジのほうが早く進んでいるのを見て損をした気持ちになることが何度もあります。

人間というのは、つい他人と比べてしまう生きものなのです。

自分は、〇〇さんより優れているとか、△△さんにはかなわないとか、いつも他人との比較は関心事です。

自分の身に限らず、家族、子どもなど自分の身の回りの人も、つい自分と同じように、他の家族、他の子と比べてしまします。

隣のレジは早いと思うのは、他人がすることを感じる自分がここにいるからです。「他人と比べると不幸が始まる」という言葉がありますが、他人(隣のレジ)と比較することを通して苦しみが起こります。

もし隣にもう一つのレジが存在しなければ、きっと何も思わずに順番を待ち、普通に買い物済ませたことでしょう。

思い通りにはいかない私の人生ですが、隣のレジが早くても、少しだけ穏やかな気持ちで過ごせるようになれば、そう思うことです。

南無阿弥陀仏